



2025 年 6 月

- [今回のリリースでの新機能](#) (1 ページ)
- [このリリースでの変更点](#) (1 ページ)
- [問題](#) (2 ページ)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のベータ版 UI では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces : スペースの使用状況アプリケーション

ポータルビームおよび PIR センサーのサポート : スペースの使用状況アプリケーションが、コラボレーションデバイス、ポータルビーム、PIR センサー (Thingsee や Moko など) といったさまざまなソースからの稼働率データレポートをサポートするようになりました。

スペースの使用状況アプリケーション UI の更新 : スペースの使用状況アプリケーション UI の強化によりユーザーナビゲーションが改善され、より直感的なインターフェイスが提供されました。

- **ダイナミックページタイトル** : ページタイトルとフィルタ処理が、選択したビューに基づいて自動的に更新されるようになりました。特定の建物またはフロアをすばやく識別し、どのフィルタが適用されているかを確認できます。
- **[Location] ドロップダウン** : [Location Selection] ドロップダウンリストが、使用の観点からウィンドウの右側に再配置されました。このフィルタ処理がビルディングビューとフロアビューの両方で使用できるようになり、場所をより効率的に切り替えられるようになりました。

場所とマップ : Catalyst Center エクスポートオプション

[Locations & Maps] では、[Digital Maps] 機能（[Setup] > [Locations & Maps] > [Digital Maps]）を使用して、建物マップ（公開バージョン）を Catalyst Center にエクスポートできるようになりました。

エクスポートオプションは、マップが公開されている建物でのみ使用できます。建物の横にある 3 つのドットをクリックし、[Export to] **Catalyst Center** を選択してマップを処理します。[Download] をクリックして、選択した建物の処理したデジタルマップ（ZIP 形式）を保存します。ポップアップウィンドウの指示に従って、マップ階層を Catalyst Center にインポートします。



（注） マップのエクスポート機能は、AP が [Setup] > [Device Placement] オプションの下に配置されている場合にのみ動作します。

変更ログの機能強化

Cisco Spaces の新しい UI では、[Location & Maps] と **スペースの使用状況アプリケーション** の監査証跡アクティビティを追跡するために、[View Change Log] 機能（[Home] > [Profile]）を使用します。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 1: Cisco Spaces の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwp80116	Space Manager：自動マッピングされたワークスペースが手動マッピング中に削除されない。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 2: Cisco Spaces の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwp80174	Space Manager：ホットデスクが設定されているか、ホットデスクがサポートされている場合に、Webex ワークスペースを会議室にマッピングできない。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。